

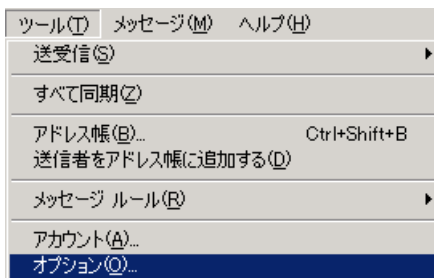
# OutlookExpress で HTML メールを受信しない、送信しないための設定

電子メールに関するマナーなどの基礎知識は情報教育コーディネータ通信の第 1 号でお知らせしましたが、そのなかで「HTML 形式のメールを送るのは避けたい（テキスト形式で送りましょう）」という旨の内容を掲載しました。しかし、いまだに送られてくるメールの中に HTML 形式が多く見受けられますし、インターネットでショッピングなどをした後、そのお店から HTML 形式の広告メールが届くようになることもままあります。HTML 形式のメールというものはホームページとほぼ同じ形式ですので、悪意のある者がウィルスを埋め込みやすく、メールを読むために本文を開いた段階で感染するという危険があります（添付ファイルを開かなければ安全というのは間違った認識です）。つまり HTML メールを開くことは「怪しいホームページを見る」という行為に等しい結果を招くことがあるということです。

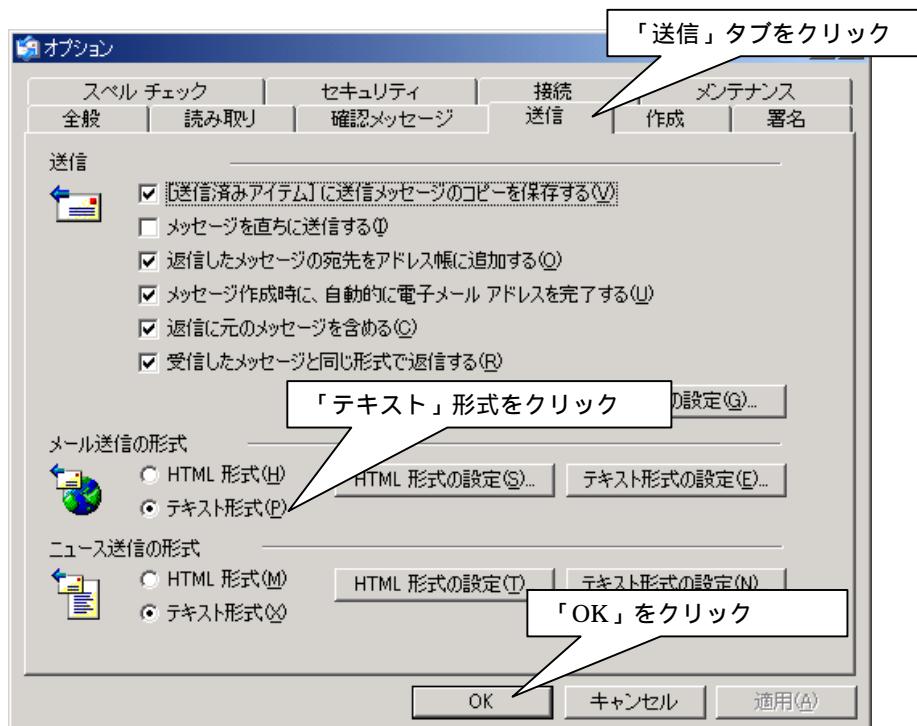
そこで今回は、今一度 OutlookExpress において HTML 形式でメールを送信しないようにする設定と、自分が受信する際に（HTML 形式のメールを）テキスト形式で受信するための設定を紹介します。

## 1. メールを送るときはテキスト形式で

OutlookExpress を起動し、「ツール」メニューから「オプション」を選択します。

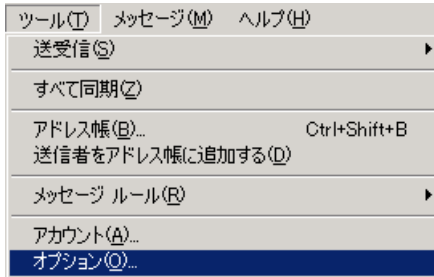


「オプション」ダイアログが表示されますので、「送信」タブから、「メール送信の形式」欄の「テキスト形式」をクリックして選択し、「OK」をクリックします。

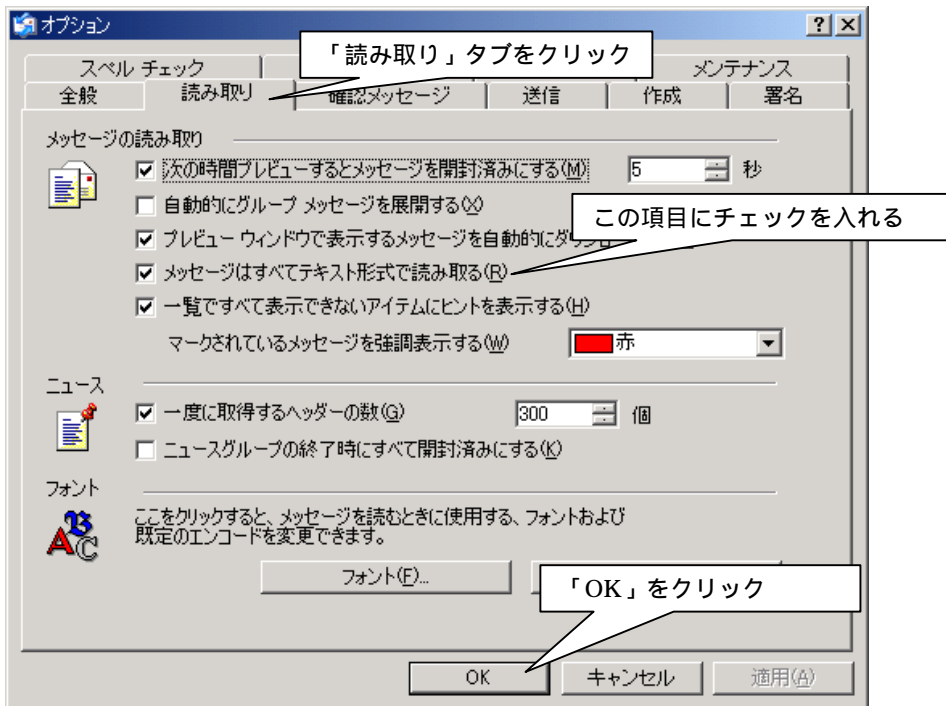


## 2 . HTML 形式のメールをテキストとして受信する

OutlookExpress を起動し、「ツール」メニューから「オプション」を選択します。



「オプション」ダイアログが表示されますので、「読み取り」タブから、「メッセージの読み取り」欄の「メッセージはすべてテキスト形式で読み取る」をクリックしてチェックを入れ、「OK」をクリックします。



以上で、HTML 形式のメールを受信しても開くとテキスト形式で表示されます。

